

府中市議会議員 増山あすか

建設環境委員会 副委員長 / 市庁舎建設特別委員会 委員



自民党

連絡先：増山あすか（住所）府中市白糸台 5-24-1-702（TEL・FAX）042-358-6062（メール）info@asuka-masuyama.com
発行所：府中市議会市政会（住所）府中市宮町 2-24（TEL）042-335-4505（FAX）042-364-5415



9月定例議会における一般質問では **待機児童対策** と **府中市美術館** を取り上げ、質疑を行いました。

待機児童対策

第6次府中市総合計画の当初計画では、待機児童ゼロは平成29年度までの目標としておりました。しかしながら、想定を上回る保育需要から目標を達成できず、本市は日本全国で待機児童数の多い都市10位に入っていました。今般、平成30年度からスタートする後期総合計画が提示されましたが、ここでは、待機児童ゼロの目標達成が、平成33年度に先延ばしとなりました。そこで、改めて、待機児童ゼロに向けての市の決意を聞きました。

市長より、待機児童の解消は「市の最重要事項の一つ」と答弁がありました。また、その目標達成のために、**現在の計画を超えた数の保育園整備を進める**ということ、**新たな施策も積極的に進める**という待機児童解消のための力強い決意を確認しました。

担当部長との質疑を通じて、計画通り保育所を整備していても待機児童が解消できない大きな理由が判明しました。最上位計画である第6次府中市総合計画における人口予測値が全く当たっていないということです。整備計画の大前提である0歳児から5歳児の数が14,000人中1,500人も違っており（約10%の相違）、そのため、計画どおり保育園を整備しても、毎年待機児童は減らないということです。

将来に向けて計画を立てる際は人口推計値をもとにしています。しかし、実際の子どもの数と乖離する場合は、計画の中間年を目安に計画の見直しを行うとの回答でしたが、最重要施策の一つとして、待機児童をゼロにするという大きな目標を掲げている以上、推計値と実態がかけ離れてしまう場合には、もう少し**早目に軌道修正することを要望**しました。

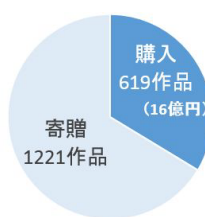
保育士不足の現状について、子育て期にある若い保育士さんは、自分自身の子どもが保育園に入れないと保育士として活躍できないと、働きたいのに働けない悩みを聞いております。平成29年度東京都の新規事業として、**保育士に対する居宅訪問型支援事業**が創設されたことから、本市においてもぜひ活用してほしい旨要望しました。

府中市美術館

2000年に開館した府中市美術館の「美術品購入基金」が約2億円で新設される報告があったため、美術館の運営状況と美術品の購入について質疑を行いました。



府中市美術館の所蔵品数は下の表のとおり。購入については、府中市美術品収集選定委員会において、美術品に対して幅広い知見を持った学識経験者6名により、他館の取引事例や同作家の作品事例などを参考に、価格の適正について審査を行い、購入すること。作品は、美術館内の5室の収蔵庫で保管しており、その広さは合計で716平方メートル、現在の収蔵割合は約5割程度であり、今後の収蔵目標は、現在のおよそ倍程度、ということが判明しました。



美術品購入の基金を新設する理由については、基金としてあらかじめ財源を確保しておかないと、そもそも予算がないからと府中市には作品の情報が入って来ない、もしくは、出会った場合にも交渉すらできないという状況がわかりました。

美術館の年間運営費は、約2億7,000万円ほどです。赤ちゃんも含めた単純な人口割で考えると、市民1人当たり約1,000円の負担ということになります。これを市民に還元するという意味も込めて、市民であれば年に1回無料で鑑賞できるチケットを渡すなど、今まで美術館の存在を意識していなかった方に足を運んでもらうきっかけづくりを検討されることを提案しました。

府中市への転入者には、美術館や郷土の森博物館の招待チケットを渡して、府中市にはこんなにすばらしい施設があるんだということをまず知っていただくというのも、府中市への転入者を歓迎する意味でも効果的な方策であることも提案しました。

12月定例議会における一般質問では **商工業の振興策** を取り上げ、質疑を行いました。



Q 中小企業の支援施策

商工業振興事業と経営改善事業は、むさし府中商工会議所が実施する「相談事業」や「経営指導」に対して、市から補助金を出すことを通じて行っています。質疑を通して、商工会議所から市に対しては、四半期毎の実績報告を受けており、経営一般や税務及び金融に関する相談を多く受けている実態が明らかになりました。今後は、サービスの受け手である相談した企業にとって、満足のいくアドバイスができていないか調査するとともに、市は商工会議所と緊密な連携をはかり、更なるサービス向上を目指すよう要望しました。

Q 産学官連携

会派視察では全国都市問題会議に参加しましたが、参加都市の中には、大学と包括連携協定を結び、地域産業の活性化と地域課題の解決につながる調査研究には補助金を出すなど、大学の知的資源を活用した行政との活発な交流が見受けられました。府中市内にも、東京農工大学や東京外国語大学、近くには電機通信大学等がありますので、積極的な連携を要望しました。

Q 中心部から市全域のにぎわいへ

「中心市街地活性化基本計画」の中では、中心部の賑わいを府中市全域に広げることで、市全体としての活性化につなげると記載がありますので、具体的な計画内容を質疑しました。中心部の賑わいは、府中駅周辺の事業者と一般社団法人まちづくり府中が連携して取り組んでおり、「東京競馬場とタイアップしたスタンプラリー事業」や大國魂神社と協力し「竹あかりによるおもてなしライトアップ事業」を12月27日から実施予定であること、店舗の活性化を目指す「まちゼミ」を市内各商店へ広げる予定であるということが明らかになりました。来年度以降は、「竹あかり」についても府中駅周辺だけでなく、市内全域の商店街や学校、自治会等と広く連携して実施するよう要望しました。



担当している **建設環境委員会** より

生産緑地を 300㎡~とする条例可決

市街地における貴重な緑地空間として、市内にある農地を保全するため、生産緑地として指定できる下限面積を 500㎡ → 300㎡ とする新設条例が制定されました。土地所有農家が自治体に対して生産緑地の買取申出が可能となる 2022 年以降における農地の減少を防ぐ為、農業委員会と密接に連携しながら、今後も様々な取組みをして参ります。



生産緑地に指定されると？
終身営農を条件に、固定資産税の優遇や相続税の納税猶予が適用される。この結果宅地化への転用が抑制される。

東京都道路整備事業推進大会

道路を担当する都内の市議・区議が集まり、国交省、東京都に対して道路整備の要求、要望事項を決議しました。

【都内の渋滞緩和のため】

外郭環状道路の完成、開かずの踏み切り対策推進、連続立体交差の整備、等

【防災対策のため】

木密地域の道路整備（幅員 12m 以上の道路で延焼は防止される）、無電柱化、等



分倍河原駅周辺の交通戦略案

分倍河原駅は市内で最も利用者が多いにもかかわらず、狭い駅舎や老朽化した跨線橋等、様々な課題を抱えています。住民アンケートや駅利用者ヒアリング等を経て、「駅の改良」と連動して「駅周辺のまちづくり」を実現することを目的として策定されました。

【ステップ1】5年かけて駅までの道路の拡幅や駐輪場の再編などを進めます

【ステップ2】10年目安で駅舎の改良など、大規模改修を行います

なお、昨年9月に「住民アンケート」を実施し、地域住民による「まちづくり協議会」も開催中。

<実施プログラム>

No.	施策	事業主体	凡例	
			ステップ1 (おおむね5年)	ステップ2 (おおむね10年)
1-1	跨線橋の撤去と南北自由道路の新設	府中市	進捗中	自由道路整備
1-2	商店街の自動車対策	府中市	進捗中	対策実施
1-3	駅へのアクセス道路の拡幅・整備	府中市	進捗中	進捗中
1-4	東西自由道路の新設	府中市	進捗中	自由道路整備
1-5	生活道路における歩行者環境の充実	府中市	進捗中	進捗中
1-6	駅周辺への屋外空間の確保	府中市	進捗中	広場整備
1-7	歩行者空間の確保	府中市	進捗中	歩行者空間確保
2-1	自転車走行空間の確保・明瞭	府中市	進捗中	自転車走行空間確保
2-2	自転車駐輪場の移転・再配置	府中市	進捗中	自転車駐輪場整備
2-3	南北自由道路等における自転車専用歩道の促進	府中市	進捗中	自転車専用歩道整備
3-1	駅舎とまちの整合	鉄道事業者 府中市	進捗中	駅舎整備
3-2	駅前広場の再整備・空間付けの検討	府中市	進捗中	駅前広場再整備